

# SSKA 東腎協

2014年6月29日

# No.202

## NPO東腎協第9回総会議案集



第25回腎臓病を考える都民の集い



第44次国会請願



第33回臓器移植普及推進キャンペーン



NPO東腎協第8回総会・第3回大会

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

事務局・☎170-0005 豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F

☎03-3944-4048 FAX03-5940-9556

E-mail info@toujin.jp ホームページ <http://www.toujin.jp>

NPO法人東京腎臓病協議会

# 第9回総会のご案内

NPO法人東京腎臓病協議会第4章（総会）に基づき左記のとおり正会員のみで第9回総会を開催します。

記

日時 2014年6月29日（日）午後0時30分開場 ※正会員のみ  
会場 東京都障害者福祉会館・A153  
所在地 〒108-0014 東京都港区芝5丁目18-2  
電話 03-3455-6321 FAX 03-3453-6550

交通機関

- ・JR山手線・京浜東北線 田町駅下車徒歩5分
  - ・都営地下鉄浅草線 三田駅A7出口徒歩1分
  - ・都営地下鉄三田線 三田駅A8出口徒歩1分
- ※参加者は議案集を必ずご持参下さい。

NPO法人東京腎臓病協議会

# 第4回大会のご案内

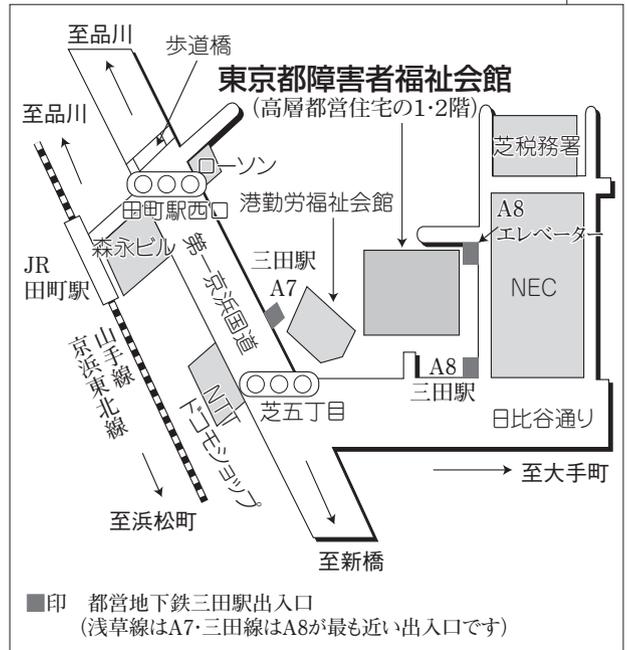
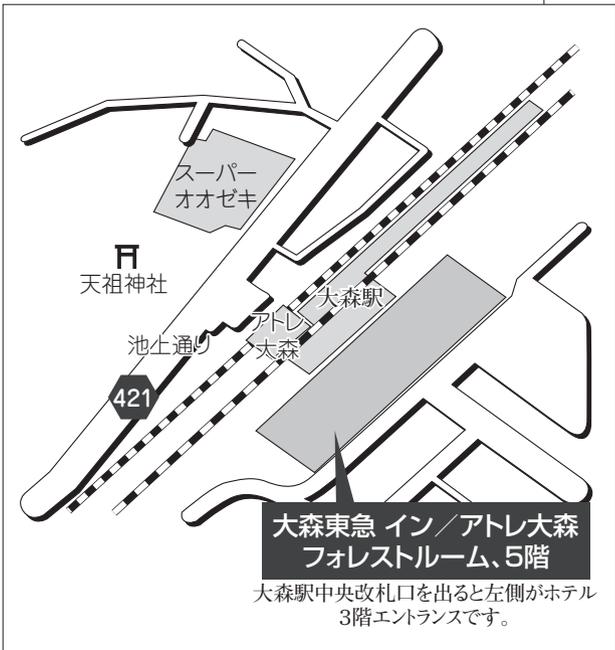
記

日時 2014年7月6日（日）午前10時30分開場 ※会員どなたでも参加できます  
次第 NPO法人東京腎臓病協議会第4回大会（11時00分から14時20分予定）  
会場 大森東急イン・フォレストルーム TEL 03-3768-0109  
〒143-0016 東京都大田区大森北1-6-16 アトレ大森

交通機関

・JR京浜東北線 大森駅直結・JR品川駅より6分（2駅）・JR東京駅より17分・JR横浜駅より23分  
記念講演 午前11時10分～12時40分  
「笑いと健康」プラス思考で医療を考えよう」

講師・松本 光正 先生（関東医療クリニック 院長）



# NPO法人東京腎臓病協議会 第9回総会式次第

12	30	受付開始
13	13	総会開会・司会者挨拶
13	03	会長挨拶・黙祷
13	10	議長選出
13	15	議長あいさつ
13	17	議事録署名人選出
13	20	第1号議案 2013年度事業報告
13	40	2013年度収支報告
14	00	2013年度監査報告
14	05	質疑・応答(採決)
14	15	第2号議案 2014年度事業計画(案)
14	25	2014年度収支予算(案)
14	35	質疑・応答(採決)
14	45	第3号議案 2014年度役員選出・退任役員
14	50	質疑・応答(採決)
14	55	災害対策アンケートについて
15	03	(採決)
15	06	〈報告事項〉
15	11	閉会の挨拶

## 目次

二〇一三(平成25)	年度主な活動記録(抜粋)	2
二〇一三(平成25)	年度事業報告	4
二〇一三(平成25)	年度財務諸表	9
二〇一三(平成25)	年度収支報告書	10
二〇一三(平成25)	その他の事業会計	13
	(財産目録・貸借対照表・収支計算書)	13
	監査報告書	14
二〇一四(平成26)	年度事業計画書	15
二〇一四(平成26)	年度事業会計予算(案)	17
二〇一四(平成26)	年度その他の事業会計予算(案)	20
二〇一四(平成26)	年度NPO東京腎臓病協議会執行部(案)	表3

### NPO東京腎臓病協議会 第4章 総会

#### 第15条(総会)

総会は、毎年1回開催し、正会員をもって構成する。総会では、①活動経過報告と決算および会計監査報告の承認②活動方針および予算の決定③規約の改廃④役員選出⑤その他会務に関する事項等を審議決定する。

#### 第16条(臨時総会)

正会員の5分の1以上の要求があったとき、または常任幹事会が必要と認めるときは臨時総会を開催しなければならない。

#### 第17条(召集)

総会は、会長が召集する。

2 総会を召集するときは、会議の日時、場所、目的、及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。

#### 第18条(議長)

総会の議長は、その総会において、出席正会員の中から選出する。

#### 第19条(定足数)

総会においては正会員の2分の1以上の出席がなければ開会することはできない。

#### 第20条(議決)

総会の議事は、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

#### 第21条(委任等)

やむを得ない理由のため、総会に出席できない正会員は、書面により表決を委任できる。この場合前2条の規定の適用については、総会に出席したものとみなす。

#### 第22条(議事録)

総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
  - (2) 正会員の現在員数、出席者数及び出席者氏名(表決委任者の場合にあつては、その旨を付記すること)
  - (3) 審議事項及び決議事項
  - (4) 議事の経過の概要及びその結果
- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、書名、捺印しなければならない。

# 二〇一三(平成25)年度主な活動記録(抜粋)

期間 2013年4月1日～2014年3月31日

## 2013年4月

6 全腎協臨時総会～大森東急イン

13～14 全腎協第104回理事会

全腎協事務局

北部ブロック学習交流会

18 総会メッセージ送付京都腎臓病

協議会、NPO神奈川県腎友会、

公社滋賀県腎臓病患者福祉協会、

栃木県腎臓病友の会

21 多摩ブロック会議

会計監査

28 役員選考委員会

第85回三役会・第85回理事会

30 会員実態報告書各県に発送

各メッセージ発送、群馬県腎臓

病患者連絡協議会、NPO和歌

山県腎友会、NPO千葉県腎臓

病協議会、北海道腎臓病患者連

絡協議会、茨城県腎臓病患者連

絡協議会

## 2013年5月

8 日本大学附属駿河台病院鈴木先

生面談

11 全腎協臓器移植対策委員会

12 東難連葛飾区地域腎友会第7回

総会

16 機関誌「東腎協」No.1996議案

集発行

18～19 全国大会in宮城総会

25 成和腎クリニック患者会再立ち

26 上げに関して説明訪問

26 第86回三役会・第86回理事会

東部・中南部ブロック合同交流

会打ち合わせ

多摩ブロック正会員会議打ち合

わせ

30 関東ブロック青年交流会打ち合

わせ

31 NPOすずらんの会高山様来局

機関誌「東腎協」No.197発行

## 2013年6月

4 未組織委員会引継ぎの件

16 第87回三役会・第87回理事会

23 NPO東腎協第8回総会

NPO東腎協第3回大会

会員参加…122名

24 東京都生活文化局都民生活部管

理法人課 事業報告書 等提出

書(平成24年度、第8期分)、

定款変更認証申請書送付

2014年度都庁予算要請会議

多摩ブロック正会員交流会打ち

合わせ

25 2014年度都庁予算要請会議

第73回関東ブロック会議打ち合

わせ

30 青年部関東B打ち合わせ

## 2013年7月

2 H26年度都庁予算要請の件、福

祉保健局疾病対策課・阿部課長、

笹川係長、竹内係長、保健政策

部保健政策課、久世主任面談

6～7 全国代表者会議in新大阪

ワシントンホテルプラザ

多摩第1G学習交流会、会員12

名

9 東部・中南部合同B交流会打ち

合わせ

10 日本腎臓財団訪問

14 東部・中南部合同B交流会、会

員48名

19 正会員・理事名簿一覧表作成、

H25年度HP更新作業

20 第73回全腎協関東ブロック会議

23 平成25年度第1回東京都障害者

団体連絡協議会の件で福祉保健

局障害者施策推進部計画課、調

整担当 小川様訪問

28 第88回三役会

オブザーバー研修会

第88回理事会

29 機関誌「東腎協」No.198発行

## 2013年8月

1 都庁予算要請打ち合わせ

東部ブロック会員拡大打ち合わ

せ

4 第16回地域腎友会交流会

会員(東部)10名(北部)7名、

(中南部)2名、(多摩部)10名

6 関東ブロック組織対策部会

江戸川地区未組織施設訪問・江

戸川病院メデイカルプラザ

8 2014年度都庁予算要請行動

日

10 青年部関東B、各県22名



# 二〇一三(平成25)年度事業報告

期間 2013年4月1日～2014年3月31日

## はじめに

東腎協は、毎年会員拡大を最重要項目に掲げて活動してきましたが、透析患者の高齢化(導入患者平均年齢・68・44歳〔男性67・63歳、女性70・12歳〕日本透析医学会調べ2012年12月31日現在)や、諸制度の確立に伴い、患者会の存在意義が希薄になってきていることから、会員は減少傾向にあります。

しかし、毎年30,000人を超える新しい導入患者が増えており(実質増約5000人)更なる会員拡大に取り組む必要があります。会員減少に伴い会費収入の落ち込みはありますが、賛助会費や寄付金、広告収入で何とか財政もクリアできました。

問題山積の中で、二〇一三年度も東腎協活動を取組みましたので以下のとおりご報告いたします。

1・腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業

①「臓器移植キャンペーン」・臓器提供意思表示カードの配布

第33回臓器移植普及推進全国一斉キャンペーンが昨年も10月6日(日)に上野恩賜公園で実施されました。

臓器提供の意思表示の説明書と(公社)日本臓器移植ネットワークから提供された、臓器提供意思表示カード(プロ野球12球団のマスクが描かれたもの)を入れたティッシュ約3700個を道行く人たちに手渡しました。当日は82名の参加があり盛況でした。特に移植を待っている若い方も積極的に参加を呼びかけていた多くようお願いしました。

②「腎臓病を考える都民の集い」

を開催し、広く一般市民に腎臓病の早期発見・早期治療を啓蒙する事業

事業の名称である「腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業」の目的を遂行するため「第25回腎臓病を考える都民の集い」は3月16日に都庁議会議棟1階「都民ホール」で開催しました。

第一部の講演では、「CKD(慢性腎臓病)について詳しくなろう―腎臓をまもるために」の講演を東京医科大学病院・腎臓内科主任教授の菅野義彦先生にご講演いただきました。第二部の講演では、「CKD(慢性腎臓病)の食事療法―腎臓をまもるために今すぐできる食事の工夫―」の講演を女子栄養大学・管理栄養士の坂本香織先生にご講演いただきました。当日は195名の参加があり例年になく多くの来場者がありました。

③機関誌「とうじんきょう」の発行

編集委員長 板橋 俊司  
編集委員会ではNo.196号議案集からNo.200号の1月(冬)号まで、定期発行しました。また、200号を記念して機関誌名を「とうじんきょう」と改称し、若干のリニューアルをしました。

特集については、No.197号で東腎協結成40周年記念「会員実態調査」の概要を掲載しました。また、No.200号では、東腎協三役・ブロック長による「新春座談会」を企画し、東腎協の患者会の実態、問題点、今後の活動の方向性を明らかにしました。

26年度では、編集委員会とホームページ委員会が合併し、新たに「広報委員会」となりました。機関誌とホームページはともに対外的な広報活動を担っていることから、統一した方針、政策のもと効

率的な広報活動を目指して行きたいと思えます。

④広く一般市民に腎臓病に関する正しい知識の普及と予防を促進するため、対話のできる学習交流会を開催する事業

この事業については主に各ブロック活動、交流会を対象とした活動によって対応してきました。また、病院訪問、会員交流会を行い知識普及に努めました。

## 〈1〉各ブロック活動

東部ブロック

ブロック長 石井 虎二

平成25年度の東部ブロック活動は、交流会2回と未組織訪問が主な活動でした。

1回目の交流会は7月14日、中南部ブロックとの合同で参加56名、防災体験と移動しての食事会などして相互親睦を深めました。

2回目は11月3日に区の施設を借り、参加者39名で開催しました。第一部では各施設の災害対策と意見交換、第二部では食事を取りながら、東腎協に対しての要望など、幅広く話し合いを持ちました。26年度も会員さんが望むような交流



東部ブロック学習会

会を年2回ぐらいは企画したいと思えます。

東部ブロックの会員は、3年くらい前は1376名でしたが、現在は1150名(25年10月現在)で226名減少しています。患者会の無いところには、重点的に施設を通じて患者会の大切さを知ってもらいたいため、来期も訪問を続けていきますので、会員の皆さんもご協力をお願いします。

26年度も東部ブロック役員一同頑張つてまいります。

中南部ブロック

ブロック長代行 宿野部 武志  
【昨年度の主な活動】

7月14日(日) 東部・中南部ブロック交流会

場所/そなエリア東京(東京臨海広域防災公園) 太陽楼(中華バイキング)

内容/第一部 防災体験学習

首都圏直下型地震の発生から避難までの一連の流れを体験。

第二部 交流会(食事会)

両ブロック間の交流もかねて開催  
3月30日(日) 中南部ブロック正  
会員会議

場所・東京在宅サービス(新宿)

内容・藤田会長(中南部B)より  
新年度の活動方針等の説明

・各患者会間の情報交換  
・中南部Bからの理事推薦の検討  
等

### 【今後の課題】

担当理事3名という状況下、うち2名の入院・休養が重なったとはいえ、各種の取り組みが充分でなかったと反省をしております。

26年度は特に、「次期中南部ブロック担当理事候補の選出」が急務だと捉え、本年度も患者会や正会員とのコミュニケーションを大切に、ブロック活動の活性化と

会員拡大を図っていききたいと考えております。

北部ブロック

ブロック長代行 古木 直之

平成25年4月14日(日)に豊高

区民センター4階会議室にて「勉強会」を行い、講師に医療法人裕

真会「あかまつ透析クリニック」

院長赤松眞先生をお招きし、「シ

ヤント」についての基礎知識、私

達の大切な「シヤント」のすべて

を学ぼう」と題し講演をして頂き

ました。31名の出席者があり大変

好評でした。

10月13日(日)には、和食レス

トラン「天狗」にて「患者会活動

を陰で支える功労者へ感謝と慰労

の懇親会」を行い、各患者会へ感

謝状を贈りました。

平成26年度は、①ブロック活動、

地域活動等を重要課題とし、②理

事役員候補者の輩出など進めて行

きたいと思えます。

多摩ブロック

ブロック長 吉田 芳子

・2013年7月7日

第1G正会員会議/八王子クリ

エイトホール

- ・2013年7月14日
- 第2G正会員会議／立川アイム
- ・2013年7月14日
- 第3G正会員会議／武蔵野公会堂会議室

以上は会員拡大問題を各グループごとに分かれての話し合いを内容としました。

- ・2013年8月18日
- 多摩ブロック学習交流会／立川アイム

第一部「しっかり食べて、動いて、しっかり透析」講師 菅沼信也先生（腎内科クリニック世田谷院長）

第二部「温罨法と運動療法」講師 長野将裕先生（東京在宅サービス）

第三部「納涼ミニコンサート」

・2014年2月2日

多摩ブロック学習会／八王子クリエイトホール

「透析患者の体験談を聴く会」

・2014年度の予定

5月18日 多摩ブロック正会員会議

「多摩だより」の発行については今のところ未定

来年度も区域的に広い多摩ブロックですが、患者会とコミュニケ

ーションをはかり、ブロック活動を充実していきたいと思えます。

## 〈2〉会員拡大施設訪問

会員拡大を目的とした施設訪問を月2、3回のペースで各理事が分担してブロックごとに活動しております。

「既存患者会の会員維持拡大、患者会未組織施設への訪問」を柱として、昨年度も施設訪問に特に力を入れてきました。また既存の患者会についても、役員の高齢化が進み後継者が見つからない等、東腎協、特にブロックがどうサポートしていくのが課題となっておりますが、各ブロック単位で各患者会の体制がどのようになっていくか把握することが急務になります。

## 〈3〉青年部活動

部長 宿野部 武志

### 【昨年度の主な活動】

・8月10日～11日 「全腎協関東ブロック青年交流会」を幹事県として企画・開催

・8月24日～25日 全腎協青年研修会（東京1名参加）

・12月7日～8日 全腎協関東ブ

ロック会議（青年部より1名参加）

・12月15日 ボウリング大会&忘年会開催

他随時会議開催。

### 【26年度の予定】

6月に勉強会を開催、7月に全腎協関東ブロック青年交流会、8月に全腎協青年研修会に参加を予定。また、主催イベント・交流会開催を予定しています。

今年度の活動方針は「部員拡大と次期リーダーの育成・発掘」「着実なる実績の積み上げと情報発信」です。随時青年部部員募集中です。

### ⑤地域腎友会委員会

地域腎友会委員長 戸倉 振一

第16回目になる地域腎友会交流会を8月4日に開催しました。会員の参加者はブロック別に東部10名、北部7名、中南部2名、多摩部10名で、理事、オブザーバー含め45名でした。地域腎友会からは、9地域腎友会のうち、残念ながら、町田市が役員不足から休会となり、1腎友会が欠席であったため、江東区、江戸川区、板橋区、葛飾区、墨田区、足立区、八王子市の7つの地域腎友会が参加しました。



第16回地域腎友会交流会

活動報告として区民の健康増進に資する活動、区単位でのCKD対策、災害対策、臓器移植推進キャンペーン、福祉施策等について行われ情報交換をしました。第二部では、東腎協から「40周年記念実態調査」の地域ごとに再集計した表をあらかじめ各地域腎友会に配布し、今後の各地域の活動に生かしていただくため、地域別の特徴的なことを報告しました。

## 2・腎臓病患者の自立を支援するための相談事業

広く一般市民の腎臓病に関する

医療・社会保障制度の相談業務。事務局には腎臓病に関することは勿論のこと臓器移植や社会保障・病院の検索等様々な電話や事務局に直接相談にこられる方もいます。

### 3・腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業

行政委員会

行政委員長 藤田 吉彦

平成25年度活動報告

当委員会では腎疾患総合対策確立のため、今期は以下の活動を実施いたしました。

#### (1) 都庁予算要請

2013年8月8日

要請項目は

・各種医療費助成制度等の維持継続

・CKDへの取り組み推進

・腎臓病患者の救急医療

・透析医療の安全

・要介護透析患者への支援強化

・臓器移植推進と再生医療

・鳥しよの医療体制強化

・災害対策の強化

・就労支援

・その他  
以上10項目それぞれについて回答を得ました。

#### (2) 都議会政党ヒアリング

2013年9月10日

東腎協からの要望事項

・各種医療費助成制度の維持継続

・CKD取り組み推進

・要介護透析者への支援強化

・災害対策の強化

の4項目を重要として各政党に説明しました。

対応して頂いた政党は、

都議会  
自民党、都議会公明党、共産党都



2013年都議会政党ヒアリング

議団、都議会民主党、都議会生活者ネットワーク。

各政党からは積極的な意見や質問をいただいたので今後の活動につなげていきたい。

### 4・関連する他団体との協同事業

①「国会請願」全腎協と腎疾患対策の早期確立をめざす

第43次国会請願は2014年3月20日に衆議院第一議員会館において全国の代表が参加して実施されました。

東腎協では東京選出議員11名に請願書の紹介議員を依頼し快諾を得ました。

署名数、全腎協は15,842(前年19,445)筆で、JPAは14,703(前年18,615)筆でした。募金はJPAとあわせて1,538,248円(前年1,506,264円)でした。

②(社)全腎協、NPO東難連に協力及び協力をし、不特定多数の一般市民に腎臓病について広く啓蒙活動を行う

全腎協担当理事 小野 誠  
内閣府の社団法人改革(法律に

よる)の一環で全腎協も一般社団法人移行へ向けて移行に取り組み、平成26年4月1日をもって移行が認められました。いわば全腎協は4月1日より新しい団体として再スタートした、と言っても過言ではありません。

内閣府の社団法人団体への要望はガバナンス(団体内の統治ができていくか)とコンプライアンス(法的に遵守された活動をしている団体)であります。これは全腎協だけの問題ではなく、組織する県腎協にも同様のことが求められるわけです。皆様もご存知の柔道連盟などと同様、県組織の問題も全国組織に影響することになります。

全腎協の平成25年度の活動は「厚労省への診療報酬改定等への要望活動」「透析医学会・医会をはじめとする医療関連団体との懇談会にて情報察知と広報」「通院送迎上の問題点の把握と対策と研究」「国会請願活動」などの外部への活動をはじめ、「会員大会」「総会」「理事会」などを開催し、安定した団体運営に努めました。

また新たに財務委員会・医療委員会を編成し、全腎協の活動の見



東腎協第8回総会・第3回大会

直しにも取り組みました。

各県腎協をはじめ全腎協の会員が減少傾向であることは皆様もご存知のことです。

全腎協としては県腎協の皆様が組織活動を行いやすい環境をどのように作っていくか、を考えながら取り組んでおります。

東難連（難病16団体で組織している団体）

東難連担当理事 齊藤 和己

難病18団体で東京都より業務委託されている「東京都難病相談センター」運営を主に、その中での

医療相談会・医療講演会の開催や、都庁予算要請の活動などを行ってきました。

国の難病対策に関して、初めての法制化となる「難病の患者に対する医療費等に関する法律」が成立の方向に向かっていきます（平成26年4月14日現在）。医療費助成の対象となる疾患が現行56疾患から約300疾患になりますが、高額な医療が継続する軽症者に自己負担額増が発生するケースも起り、引き続き患者団体が共同して運動することが求められています。また、総合的医療制度の中で、透析医療への影響を探る上で、透析患者である私たちは、多方面からの情報収集能力を高めた上での活動が今後必要とされます。

東京・無年金障害者をなくす会

特に活動はしておりませんが、会費のみ納めております。

### 5・福祉移送相談・推進事業

NPOを取得し、通院移送を行うおうとする団体の相談及び全腎協助成金申請の推薦

平成25年度は福祉移送についての相談、全腎協への助成金申請の

推薦はありませんでした。

### 6・腎臓病患者の食事療法に資する事業

低たんぱく米の広報・斡旋、災害時備蓄米斡旋

NPO米にケーションと協力し、小学校社会科の授業の一環である「低たんぱく米」収穫までの補助及び教員とともに食育指導を行います。

### 7・腎臓病患者の災害対策事業

災害対策委員会 戸倉 振一

災害対策委員会では、東京で大災害があった場合に被災した会員に全腎協の「災害見舞金」や「義援金」を確実に支給できるように、会員名簿を東腎協で管理していくための検討を進めています。25年度はそのために「災害対策の一環としての名簿作成に関するアンケート」を各患者会にご協力いただき、現在のところ70%の患者会からご回答をいただいております。

その結果は、名簿の作成の有無、名簿の内容、東腎協への提出の可否など様々でした。このアンケート結果をもとに、各患者会にでき

るだけ負担をかけないような管理方法を検討していきたいと考えています。

この2月には記録的な集中豪雨による土砂災害に見舞われた大島の被災状況の視察を行い機関誌「とうじんきょう」4月号の特集に掲載しました。また、昨年12月には、日本透析医学会を中心に関係学会、団体によりまとめられた東日本大震災を教訓とした提言も発行されており、今年には東京都福祉保健局発行の「災害時における透析医療活動マニュアル」の改訂版も発行される予定ですので、これらを参考に更に災害対策を充実していきたいと思っております。

### 8・その他の事業

広告掲載事業・年4回の機関誌上広告掲載編集委員会

NPO東腎協の機関誌「とうじんきょう」の誌面に理事会で承認を得た業者の広告を掲載する事業であります。

昨年度ご協力頂いた広告主様は次の各社です。（順不同）

エルピス（株）、イーホープペペセル、北村記念クリニック、上野透析クリニック、会津富士加工（株）

貸借対照表

2014年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科目	金額	金額	金額
<b>【資産の部】</b>			
流動資産			
現金預金	29,362,231		
流動資産合計	29,362,231		
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	3		
権利金等	0		
保証金	585,000		
退職給与積立預金	731,000		
その他の固定資産合計	0		
固定資産合計	1,316,003		
資産合計		30,678,234	
<b>【負債の部】</b>			
流動負債			
未払金	0		
預り金	98,393		
流動負債合計	98,393		
固定負債			
退職給与引当金	731,000		
固定負債合計	731,000		
負債合計		829,393	
<b>【正味財産の部】</b>			
正味財産		29,848,841	
(うち当期正味財産増加額)		△ 461,954	
負債及び正味財産合計		30,678,234	

財産目録

2014年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科目	金額	金額	金額
<b>【資産の部】</b>			
流動資産			
現金預金	29,362,231		
現金手許有高	45,598		
郵便振替(南大塚郵便局)	5,718,207		
郵便貯金(南大塚郵便局)	592		
普通預金(三菱東京UFJ銀行)	16,097,834		
定期預金(三菱東京UFJ銀行)	7,500,000		
流動資産合計	29,362,231		
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	3		
権利金等	0		
保証金	585,000		
退職給与積立預金(南大塚郵便局)	731,000		
その他の固定資産合計	1,316,000		
固定資産合計	1,316,003		
資産合計		30,678,234	
<b>【負債の部】</b>			
流動負債			
未払金	0		
預り金	98,393		
給与源泉税預り金	△ 36,576		
住民税預り金	△ 400		
社会保険預り金	82,736		
報酬源泉預り金	10,233		
その他預り金	42,400		
流動負債合計	98,393		
固定負債			
退職給与引当金	731,000		
固定負債合計	731,000		
負債合計		829,393	
正味財産額		29,848,841	
(うち当期正味財産増減額)		△ 461,954	
負債及び正味財産合計		30,678,234	

## 2013年度(平成25年度)決算 特定非営利活動に係る収支報告書

2013年 4月 1日～2014年 3月31日 (単位:円)

大科目	中科目	2013年度予算	2013年度決算	予算比	備考
1.会費収入	会費収入	23,588,000	22,961,520	97.3%	
	賛助会費収入	22,788,000	22,171,020	97.3%	
2.事業収入	提携手数料収入	800,000	790,500	98.8%	
	都民の集い事業収入	654,000	337,666	51.6%	
	青年部交流会	24,000	25,666	106.9%	エコ・ラクス注文手数料
	「ぜんじんきょう」送費助成金	150,000	0	0.0%	
3.寄付金収入	寄附金収入	480,000	312,000	65.0%	
	募金収入	1,900,000	2,819,136	148.4%	扶桑薬品様、エルピス様、ベータ食品様他 国会請願募金
	受取利息収入	600,000	1,255,524	209.3%	
4.その他の収入	受取印刷代収入	1,300,000	1,563,612	120.3%	
	資材印販売収入	64,000	165,878	259.2%	
	雑収入	4,000	3,699	92.5%	普通・定期預金利子
		30,000	31,735	105.8%	患者会等資料印刷代
経常収入合計		26,206,000	26,284,200	100.3%	
5.その他の事業 繰入金収入		2,000,000	1,713,390	85.7%	広告費 機関誌広告代 広告ページ印刷費
6.退職給与引当金取崩 収入			1,700,000		
その他資金収入合計		2,000,000	3,413,390	170.7%	
当期収入合計		28,206,000	29,697,590	105.3%	

支出の部 1

2013年度(平成25年度)決算 特定非営利活動に係る事業会計収支報告書

大科目	中科目	2013年度予算	2013年度決算	予算比	備考
1. 事業費 (1)腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業  (2)腎臓病患者の自立を支援するための相談  (3)腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業  (4)関連する他団体との協同事業  (5)福祉移送相談・推進事業  (6)腎臓病患者の食事療法に資する事業  (7)腎臓病患者の災害対策事業	移植キャンペーン事業	6,932,000	6,490,762	93.6%	
	都民の集い事業	300,000	297,674	99.2%	
	機関誌発行事業	500,000	304,559	60.9%	ポスター・チラシ代、他
	ホームページ管理事業	3,840,000	3,765,520	98.1%	事務局員給与1名分含、会報発送費
	知識の普及事業	969,000	645,075	66.6%	パソコン周辺保守料金、HP管理諸費用、
		1,323,000	1,477,934	111.7%	各委員会活動、ブロック活動、会長活動通信費、
	自立支援事業	857,000	507,360	59.2%	事務局員給与1名分含
		80,000	35,410	44.3%	
	都庁予算要請事業	30,000	26,530	88.4%	
	都議会ヒアリング事業	50,000	8,880	17.8%	
		8,110,000	8,178,116	100.8%	
	国会請願事業	180,000	156,150	86.8%	
	全腎協他に協力する事業	7,930,000	8,021,966	101.2%	全腎協会費4,318人
	福祉移送事業	0	0	0.0%	
	0	0	0.0%		
	10,000	0	0.0%		
低たんぱく米の広報事業	10,000	0	0.0%		
小学校食育指導事業	0	0	0.0%		
	270,000	450	0.2%		
災害対策訓練事業	270,000	450	0.2%		
事業費合計		16,259,000	15,212,098	93.6%	

支出の部2

2013年度(平成25年度)決算 特定非営利活動に係る事業会計収支報告書

大科目	中科目	2013年度予算	2013年度決算	予算比	備考
2. 管理費	手当	4,650,000	4,470,000	96.1%	事務局員給与
	職福	650,000	1,700,000	80.7%	社会保険料、労働保険料
	利	30,000	524,527	58.0%	団体傷害保険
	家品	1,903,000	17,400	100.0%	契約更新料含
	水品	751,000	1,902,600	122.7%	パソコン・印刷機・コピー機リース代、
	搬	150,000	921,265	129.7%	電気水道費
	運	133,000	194,526	94.4%	事務局お茶代、ゴミ券、ネット交換代他
	信	741,000	125,541	167.6%	電話器リース代、電話代、メール便代、切手代、振込料他
	刷	200,000	1,241,646	53.7%	コピー機使用料、印刷用紙代
	通	770,000	107,459	106.6%	会場費、議案集費他
	交	204,000	820,837	90.0%	理事会、三役会他
	租	298,000	183,580	121.2%	通勤交通費
	務	3,000	361,260	70.0%	法務局印紙税
	用	270,000	2,100	160.7%	事務局アルバイト、手伝い他
	交	150,000	433,825	271.0%	封筒、インク、各利用紙他
際	30,000	406,530	42.0%	用電	
<b>管理費合計</b>		<b>10,933,000</b>	<b>13,425,696</b>	<b>122.8%</b>	
3. 退職給与積立預金繰入額	退職預金積立金支出	506,000	506,000		24年度分積立
4. その他の事業へ繰出し	繰出し金償却額	1,000,000	1,000,000		その他の事業口座に入金
5. 権利金償却	権利金償却額	1,000,000	15,750		
<b>その他の資金支出合計</b>		<b>1,506,000</b>	<b>1,521,750</b>		
<b>支出合計</b>		<b>28,698,000</b>	<b>30,159,544</b>	<b>105.1%</b>	
<b>収支差額</b>		<b>-492,000</b>	<b>-461,954</b>		
前期繰越収支差額		29,710,042	29,710,042		
次期繰越収支差額		29,218,042	29,248,088	100.1%	

## 2013年度 その他の事業会計 財産目録

2014年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金	額
正味財産		0

## 2013年度 その他の事業会計 貸借対照表

2014年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金	額
【正味財産の部】		
正味財産		0
(うち当期正味財産増減額)		0
負債及び正味財産合計		0

## 2013年度 その他の事業会計 収支計算書

2014年3月31日現在

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	備 考
【経常収入の部】			
広告料収入	1,240,800	875,160	一般・名刺広告・折込広告
その他の収入	200	167	
受取利息	200	167	その他の事業口座利息
経常収入合計	1,241,000	875,327	
【経常支出の部】			
事業費	240,000	161,097	
機関誌「東腎協」の発行	240,000	161,097	広告ページ印刷費
管理費	1,000	840	
通信運搬費	1,000	840	振込手数料
経常支出合計	241,000	161,937	
経常収支差額	1,000,000	713,390	一般会計へ繰入
【その他資金収入の部】			
一般会計より繰入金収入	1,000,000	1,000,000	その他事業口座資金
繰入金収入	1,000,000	1,000,000	
その他資金収入合計	1,000,000	1,000,000	
【その他資金支出の部】			
一般会計へ繰出し金	2,000,000	1,713,390	
繰入金支出	2,000,000	1,713,390	
その他資金支出合計	2,000,000	1,713,390	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

# 監査報告書

平成26年5月15日

特定非営利活動法人  
東京腎臓病協議会  
会長 藤田 吉彦 殿

特定非営利活動法人  
東京腎臓病協議会

監事 小関 盛通



監事 山口 登



私たちは、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法の概要

(1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

(2) 監査業務について、月次の報告書を確認し、又理事等から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務の執行の妥当性を検討した。

## 2 監査意見

(1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認める。

(2) 事業報告書の内容は真実と認める。

(3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

# 2014年度（平成26年度）事業計画書

自2014年4月1日 至2015年3月31日

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

## 1 事業実施の方針

広く一般市民に対し、腎臓病に関する正しい知識普及と予防を図るための事業、及び腎臓病患者の医療体制の充実と福祉向上を図るための政策提言等の事業を行ない、もって市民の健康ならびに福祉向上に寄与することを目的とする。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	「臓器移植キャンペーン」臓器提供意思表示カード配布	10月	台東区 上野恩賜公園	100人	一般市民 8,000人	450
	「腎臓病を考える都民の集い」を開催し広く一般市民に腎臓病の早期発見早期治療を啓蒙する	3月	都内	20人	一般市民 200人	400
	機関誌「とうじんきょう」の発行	年4回	事務局	5人	一般市民 6,000人	3,000
	ホームページの維持管理を行い、活動内容を紹介し、腎臓病の意識啓発を図る	通年	事務局	5人	一般市民 不特定多数	600
	広く一般市民に腎臓病に関する正しい知識の普及と予防を促進するため、対話のできる学習交流会を開催する	年10回	都内	10人	一般市民 300人	1,171
腎臓病患者の自立を支援するための相談事業	広く一般市民の腎臓病に関する医療・社会保障制度の相談業務	通年	事務局	10人	一般市民 不特定多数	857
腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業	「都庁予算要請懇談会」都庁各局職員との懇談会	7月	都庁会議室	10人	一般市民 不特定多数	10
	「都議会ヒアリング」都議会議員との懇談	9月	都議会議員 会館会議室	10人	一般市民 不特定多数	10
関連する他団体との協同事業	「国会請願」全腎協と腎疾患対策の早期確立をめざす	3月	衆議院・参議院議員会館	10人	一般市民 不特定多数	195

関連する他団体との協同事業	全腎協、東難連に協力及び協力金を出し、不特定多数の一般市民に腎臓病について広く啓蒙活動を行う	随時	都内	5人	一般市民 不特定多数	7,470
福祉移送相談・推進事業	NPOを取得し、通院移送を行なおうとする団体の相談及び全腎協助成金申請の推薦	随時	事務局	1人	通院移送を行うNPO法人	0
腎臓病患者の食事療法に資する事業	低たんぱく米の広報・斡旋、災害時備蓄米斡旋	随時	事務局	3人	一般市民 不特定多数	10
腎臓病患者の災害対策事業	東京都を中心とした東京都区部災害時透析ネットワーク他多方面の自治体と協力をして災害対策訓練実施に参加する	随時	都内	10人	一般市民 不特定多数	300

事業名	事業内容	実施予定日	実施場所	従事者の予定人数	支出見込み額(千円)
広告掲載事業	機関誌広告掲載	年4回	事務局	1人	1,000

# 2014年度(平成26年度)予算 特定非営利活動に係る事業会計予算(案)

2014年4月 1日～2015年3月31日 (単位:円)

大科目	中科目	2013年度予算	2013年度決算	2014年度予算	備考
1.会費収入	会費収入	23,588,000	22,961,520	23,410,000	
	会費	22,788,000	22,171,020	22,410,000	4,150人
	助会費	800,000	790,500	1,000,000	
2.事業収入	提携手数料収入	654,000	337,666	120,000	エコ・ライズ様提携手数料
	提携の集い事業収入	24,000	25,666	20,000	全腎協、日本腎臓財団
	青年部交流会費	150,000	0	100,000	
	京都民の集い事業収入	480,000	312,000	0	
3.寄付金収入	寄付金収入	1,900,000	2,819,136	2,100,000	
	募寄	600,000	1,255,524	800,000	扶桑薬品様、エルビス様、ベータ様他
	募寄	1,300,000	1,563,612	1,300,000	
4.その他の収入	受取利息収入	64,000	165,878	362,000	
	受取印刷代収入	4,000	3,699	2,000	患者会等資料印刷代
	受取印刷代収入	30,000	31,735	30,000	全腎協還元金他
	受取印刷代収入	30,000	66,100	30,000	全腎協より発送費補助
	「ぜんじんきょう」発送費雑収入	0	100,800	300,000	
	雑収入	0	64,344	0	
経常収入合計		26,206,000	26,284,200	25,992,000	
5.その他の事業繰入金収入	機関誌広告収入	2,000,000	1,713,390	1,300,000	機関誌広告代一広告ページ印刷費
	退職給与引当金取崩収入	0	1,700,000	0	
	繰入金収入	0	3,413,390	1,300,000	その他の事業へ繰入金¥1,000,000含む
その他資金収入合計		2,000,000	3,413,390	1,300,000	
当期収入合計		28,206,000	29,697,590	27,292,000	

支出の部 1

大科目	中科目	2013年度予算	2013年度決算	2014年度予算	備考
1. 事業費 (1) 腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	移植キャンペーン事業 都民の集い事業 機関誌発行事業 ホームページ管理事業 知識の普及事業	6,932,000 300,000 500,000 3,840,000 969,000	6,490,762 297,674 304,559 3,765,520 645,075	5,421,500 450,000 400,000 3,000,000 400,000	事務局長給与1名分含 機関誌発行費、発送費、編集委員給与分含 HP管理諸費用、パソコン周辺保守料金 各委員会活動、ブロッグ活動、青年部、会長活動費他
(2) 腎臓病患者の自立を支援するための相談	自立支援事業	857,000	507,360	0	事務局員給与1名分含
(3) 腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業	都庁予算要請事業 都議会ヒアリング事業	857,000 80,000 30,000 50,000	507,360 35,410 26,530 8,880	0 20,000 10,000 10,000	事務局長給与1名分含 都庁関係費 都議会関係費
(4) 関連する他団体との協同事業	国協会請願事業 全腎協他に協力する事業	8,110,000 180,000 7,930,000	8,178,116 156,150 8,021,966	7,968,000 195,000 7,773,000	全腎協納付金 全腎協会費、関東ブロッグ費、東灘連合会費、その他団体関連費
(5) 福祉移送相談・推進事業	福祉移送事業	0	0	0	
(6) 腎臓病患者の食事療法に資する事業	低たんぱく米の広報事業 小学校食育指導事業	10,000 0	0 0	0 0	
(7) 腎臓病患者の災害対策事業	災害対策訓練事業	270,000	450	300,000	資料作成他
事業費合計		16,259,000	15,212,098	13,709,500	

支出の部2

大科目	中科目	2013年度予算	2013年度決算	2014年度予算	備考
2. 管理費	手当 福利 家賃 用品 搬入 運賃 印刷 通運 会議 税務 局用 用品 給与 退職 手当 給付 保険 料 定額 事務 用品 給与 退職 手当 給付 保険 料 定額 事務 用品	4,650,000	4,470,000	6,338,800	事務局2名分
		0	1,700,000	0	
		650,000	524,527	500,000	事務局員労働保険、社会保険事業主負担分
		30,000	17,400	20,000	団体傷害保険料
		1,903,000	1,902,600	1,903,000	1ヶ月158,550
		751,000	921,265	762,000	印刷機・コピー機リース代
		150,000	194,526	150,000	電気水道費
		133,000	125,541	100,000	事務局お茶代、ゴミ券、ネット交換代、日用品他
		741,000	1,241,646	1,100,000	電話器リース代、メール便代、切手代、振込手数料他
		200,000	107,459	200,000	印刷用紙代、インク代
		770,000	820,837	1,390,000	会場費、議案集費他
		204,000	183,580	120,000	理事会、三役会他会議費
298,000	361,260	470,000	通勤交通費		
3,000	2,100	2,000	事務局手続き		
270,000	433,825	453,680	図書費、会計顧問料		
150,000	406,530	200,000	名刺、封筒、事務用品他		
30,000	12,600	20,000	用電等		
<b>管理費合計</b>		<b>10,933,000</b>	<b>13,425,696</b>	<b>13,729,480</b>	
3. 退職給与積立預金繰入額	退職預金積立金支出	506,000	506,000	370,000	25年度分積立
4. その他の事業へ繰入額	繰出し金償却支出額	1,000,000	1,000,000	0	
5. 権利金償却	繰出し金償却支出額	1,000,000	1,000,000	0	
<b>その他資金支出合計</b>		<b>1,506,000</b>	<b>1,521,750</b>	<b>370,000</b>	
<b>支出合計</b>		<b>28,698,000</b>	<b>30,159,544</b>	<b>27,808,980</b>	
<b>収支差額</b>		<b>-492,000</b>	<b>-461,954</b>	<b>-516,980</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>		<b>29,710,042</b>	<b>29,710,042</b>	<b>29,710,042</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>		<b>29,218,042</b>	<b>29,248,088</b>	<b>29,193,062</b>	

## 2014年度(平成26年度) その他の事業会計 予算(案)

自2014年 4月 1日 至2015年 3月31日

(単位:円)

科 目	2014年度決算額	2015年度予算額	備考
<b>【経常収入の部】</b>			
広告料収入	875,160	1,200,800	一般・名刺広告、折込広告
その他の収入	0	0	
受取利息	167	200	その他の事業口座利息
経常収入合計	875,327	1,201,000	
<b>【経常支出の部】</b>			
事業費	161,097	200,000	
機関誌「とうじんきょう」の発行	161,097	200,000	広告ページ印刷費
管理費	840	1,000	
通信運搬費	840	1,000	振込料
経常支出合計	161,937	201,000	
経常収支差額	713,390	1,000,000	一般会計へ繰入
<b>【その他資金収入の部】</b>			
一般会計より繰入金収入	1,000,000	1,000,000	その他の事業口座資金
繰入金収入	1,000,000	1,000,000	
その他資金収入合計	1,000,000	1,000,000	
<b>【その他資金支出の部】</b>			
一般会計へ繰出し金	1,713,390	2,000,000	
繰入金支出	1,713,390	2,000,000	
その他資金支出合計	1,713,390	2,000,000	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

# 2014年度NPO東腎協執行部（案）

2014年4月30日現在

No.	役職名	氏名	ふりがな	ブロック	患者会名・クリニック名
1	会長	藤田 吉彦	ふじた よしひこ	中南	小池会
2	副会長	小野 誠	おの まこと	多摩	吉祥寺あさひ腎友会（財務担当）
3	副会長	戸倉 振一	とくら しんいち	東部	森山友の会（全腎協社員代表）
4	副会長	須賀 春美	すが はるみ	中南	虎の門高津会
5	副会長	梅原 秀孝	うめはら ひでたか	多摩	府中けやき会
6	事務局長	岸里 悟	きしさと さとる	東部	森山友の会
7	理事	飯箸 孝太郎	いはし こうたろう	東部	ネクストヴィレッジ
8	理事	石井 虎二	いしい とらじ	東部	瑞江腎クリニック腎友会
9	理事	板橋 俊司	いたばし しゅんじ	多摩	日野クリニック腎友会
10	理事	金井 信憲	かない のぶのり	東部	新江東橋クリニック腎友会
11	理事	齊藤 和巳	さいとう かずみ	多摩	八王子東町クリニック「桑の実会」
12	理事	酒井 豊	さかい ゆたか	東部	菊川橋クリニック腎友会
13	理事	榊原 靖夫	さかきばら やすお	北部	高中腎友会
14	理事	坂本 悦男	さかもと えつお	北部	東海病院ひまわり会
15	理事	清水 陽介	しみず ようすけ	多摩	すながわ相互診療所患者会・いずみ
16	理事	宿野部 武志	しゅくのべ たけし	中南	腎内科クリニック世田谷患者友の会
17	理事	田崎 勲	たさき いさお	東部	新小岩クリニック友の会
18	理事	中村 博	なかむら ひろし	東部	新葛友の会
19	理事	古木 直之	ふるき なおゆき	北部	鶴田クリニック友の会
20	理事	吉澤 正雄	よしざわ まさお	東部	新小岩クリニック友の会・船堀
21	理事	吉田 芳子	よしだ よしこ	多摩	南大沢パオレ腎友会
22	監事	小関 盛通	こせき もりみち	東部	柳原健腎会
23	監事	山口 登	やまぐち のぼる	多摩	個人会員
24	相談役	森 義昭	もり よしあき	中南	虎の門高津会
25	相談役	木下 久吉	きのした ひさよし	多摩	あけぼの友の会
26	オブザーバー	工藤 育夫	くどう いくお	北部	東海病院ひまわり会
27	オブザーバー	關戸 千尋	せきど ちひろ	北部	優人大泉学園クリニック
28	オブザーバー	長井 久美子	ながい くみこ	中南	にこたま会
29	オブザーバー	桃田 数重	ももた かずしげ	北部	中野共立病院腎友会・絆の会

## 退任理事・オブザーバー

No.	役職名	氏名	ふりがな	ブロック	患者会名
1	理事	糸 修	いと おさむ	多摩	すながわ相互診療所患者会・いずみ
2	オブザーバー	市川 徹	いちかわ とおる	多摩	調布病院腎友会

